

イブランバー

施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

| | | | |
|---------------|-----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 首都圏営業 グループ | 首都圏 第1・2チーム | TEL(087)825-3621 | FAX(087)825-3645 |
| 東日本営業 グループ | 北海道・東北営業チーム | TEL(087)825-3632 | FAX(087)825-3695 |
| | 関東甲信越営業チーム 中部営業チーム | TEL(087)806-3660 TEL(087)825-3622 | FAX(087)825-3645 FAX(087)825-3646 |
| 西日本営業 グループ | 近畿営業チーム | TEL(087)825-3623 | FAX(087)825-3647 |
| | 中四国営業チーム | TEL(087)825-3624 | FAX(087)825-3648 |
| | 九州営業チーム | TEL(087)825-3625 | FAX(087)825-3649 |
| 特需営業 グループ | 特需 第1・2・3チーム | TEL(087)825-3662 | FAX(087)825-3669 |

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工、取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷、ケガにつながる可能性があります。本書にそわず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

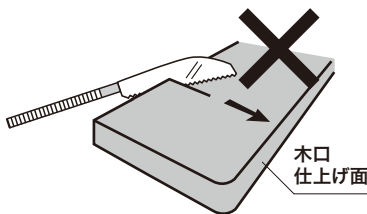
品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

イブランバーの施工について

① 下穴加工について

- 堅木なので使用するビスの太さにあわせて必ず下穴加工を行なってください。割れるおそれがあります。
- 貫通穴を開ける場合は、当て木をするなど、ササクレ・割れにご注意ください。

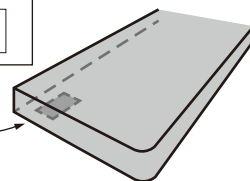
② カットする場合、表面を上にして木口仕上げ面からカットしてください。



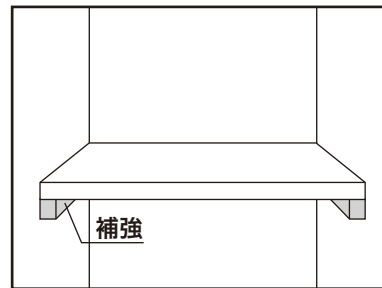
ご注意

イブランバーには表裏があります。

「裏面」シール
裏面



- #### ③ カウンターや棚板として使用する場合は、裏面の耐荷重の目安値を参考に取り付け方を考慮し、補強が必要な箇所には造作下地やアングルやカウンター支柱等の適性部材を用い、確実に強度を高めてください。



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この製品の材料は右記の通り自主表示登録を行っております。

発散等級区分: F☆☆☆☆

製品名: 塗装集成材

製造者: 南海プライウッド株式会社

TEL 087-825-3655

FAX 087-825-3641

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会表示登録

発散等級 F☆☆☆☆

登録番号 K-002751

製造業者等名称 南海プライウッド株式会社

ロット番号 梱包に表示

問い合わせ先 <https://www.kensankyo.org/>

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

施工される方・お施主さまへ

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解のうえ、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。



注意



製品には乗らない。

安全のため製品には乗らないでください。
ケガ・死亡のおそれがあります。



耐荷重の目安を必ず守る。

※詳しくは下記の**耐荷重の目安値**をご参照ください。

ご使用上のお願い



粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



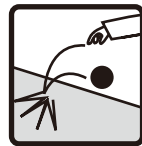
水濡れに注意する。

製品に直接水をかけたり、濡れた物を置いたりしないでください。表面化粧の剥がれや反りの原因となります。



油やインクの付着に注意する。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。
放置するとシミや変色の原因となります。



硬い物をぶつけたり落としたりしない。

表面にへこみ跡がのこります。

お手入れについて

日常のお手入れ。



日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。

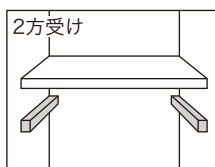
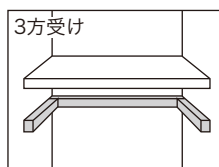
※シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

耐荷重の目安値

棚板として使用する場合は、以下の数値を目安にして棚板の取り付け方法を考慮し、上部に置く収納物を制限してください。

下記の数値は目安であり保証値ではありません。許容重量を参考にしてそれ以上重い物は収納しないでください。(単位:kg)

| 奥行(mm) | | 300 | 450 |
|----------|-----|-----|-----|
| 間口910mm | 3方受 | 55 | 70 |
| | 2方受 | 25 | 40 |
| 間口1360mm | 3方受 | 40 | 40 |
| | 2方受 | 10 | 20 |
| 間口1810mm | 3方受 | 35 | 20 |



ご注意

- 躯体強度、取り付け方法によっては性能を保持できない場合があります。
- 間口寸法によってはたわみ量が大きくなり、実用に適さない場合があります。
耐荷重の目安値の記載が無いサイズの棚板※については強度が確保できません。
必ず方立、もしくは束を施工してご使用ください。※間口が1810mmを超える棚板
- 棚板の変形を防止するためにも荷重はできるだけ分散するようお願いいたします。
- この荷重の目安は、長期荷重試験においてJIS規格の範囲内で使用できる荷重値に安全率を加味した算出値です。
- 棚板の取り付けに弊社製品「棚柱セット」各種を使用する際は、「棚柱セット」の耐荷重値を確認のうえ、より小さい値を耐荷重の目安値としてご認識ください。
※棚柱セットでの棚板取り付けは「2方受」の耐荷重値に準じます。

ご注意

カウンターや棚板として使用する場合は、上記の耐荷重の目安値を参考にして取り付け方法を考慮し、補強が必要な箇所にはアングルやカウンター支柱等の適性部材を用い、確実に強度を高めてください。
また、上部に置く収納物も制限してください。